

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市なかよし学園	
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 5,340人(前年度比101.9%) 令和4年度 5,241人(前年度比92.6%) 令和3年度 5,661人(前年度比105.0%)	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 109,186千円 (100,617千円) ・ その他市が負担した費用 6,498千円 (7,781千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 89,011千円 (79,835千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年12月～令和6年1月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営にあたっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の特別支援学校や子育て支援機関等と連携し、地域支援の充実に積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。 また、各種マニュアルを整備しているほか、毎月の避難訓練に加え、事故・怪我等の緊急対応訓練にも取り組み、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 日頃から保護者とのやりとりを大切にすることで、そのニーズを的確に把握できるよう努め、利用者からの要望や相談に適切に対応するための体制を整えている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画の策定にあたっては、多職種が連携してアセスメントを行い、利用者1人1人の障害特性に寄り添ったものとなるよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p><b>【発達支援】</b> 小集団保育と個別性を大事しながら、担任保育士との関係構築・あそびの充実・基本的生活習慣の獲得をめざして日々の療育を行っている。多職種が連携してのアセスメントに基づく療育を行い、児の達成感や自信につながるよう努めてきた。毎月の避難訓練に加え、事故・怪我などの緊急対応訓練にも取り組み、児童の命を守る意識を一層高めるよう努めた。</p> <p><b>【移行支援】</b> 就学にあたり主に年長児の保護者に向けて学校見学会等を周知したり、勉強会や面談を実施している。また、必要に応じて支援学校等の見学に職員が同行している。保護者の了承を得て、引継ぎや進路先の学校と連携し、当園でのあそびや集団生活の様子を見てもらえるよう、学校教員の来園などを進めている。</p> <p><b>【家族支援】</b> 保護者の悩みや不安感に気づくことができるよう、連絡帳のやり取りや通園バス添乗時等における職員と保護者のやり取りの時間も大切にしている。悩みや相談に対しては早期に対応するよう努め、具体的な取り組みの提案や家庭状況に合わせた預かり保育を行うほか、必要な支援が届くよう他機関と連携している。感染防止対策に組みながら行事や保護者勉強会を開催し、保護者同士が話したり、保護者と職員が児の姿を共有できる機会の確保に努めてきた。</p> <p><b>【地域支援】</b> 地域の保育所等に訪問しての施設支援や、のびすく・児童館等と連携したサロンやあそびの広場などにも取り組んでいる。卒園児フォローには元担任保育士の協力を得ながら取り組んでいる。また、児童発達支援センターの地域相談員が地域ブロックごとに協働して研修会等に取り組むなどして、連携強化に努めている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 児童の障害種別や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされている。また、近隣の特別支援学校等、地域の関係機関との情報交換や情報共有に取り組むほか、合築のあおぞらホームと合同で子育て支援機関からの相談に対応している。加えて、専門職の配置を生かし、地域の子育て支援機関と事例検討会を行うなど、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的に地域支援に取り組んでいる。 保護者支援においては、保護者との個別面談や勉強会を定期的に開催するなど、保護者の不安や悩みに寄り添い、相談しやすい体制を整えている。 以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課